

LAWN COMB

電気

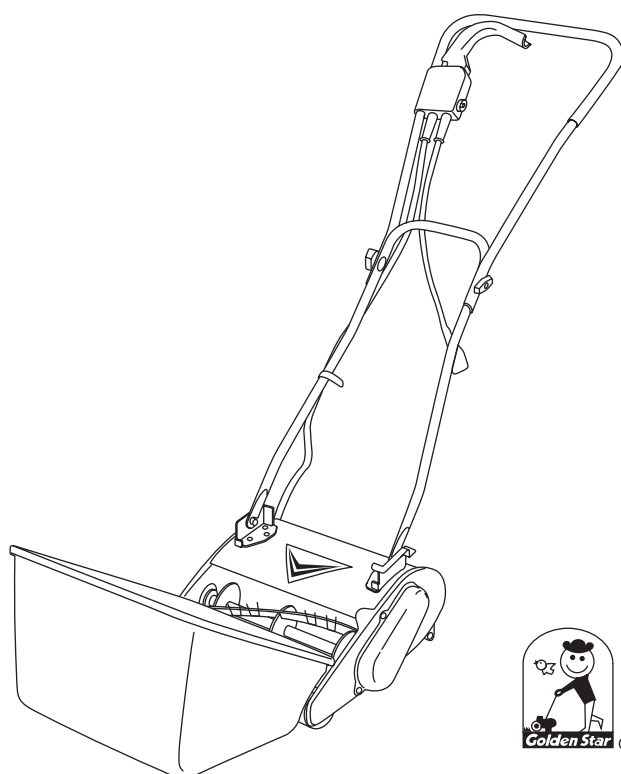
ローンコーム

電動ローンコーム

LCA-260RW

このたびは、ゴールデンスター／
電動ローンコームをご購入いただき、
誠にありがとうございます。

本書は運転操作および保守上の重要な項目について説明したものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、お使いになる方がいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。



— 安心・安全・日本製 —

目次

安全にお使いいただくために	2
各部の名称と仕様	6
ローンコームの取扱い	8
1. モーター始動までの準備	8
1-1. ハンドルを本体へ取付ける	8
1-2. グラスキャッチャー（集草器）を 組立てる	9
1-3. サッチ取り高さ（深度）を設定する	9
1-4. 作業前の点検をする	10
2. サッチ取り作業	11
2-1. 電源プラグを接続する	11
2-2. サッチ取り作業をする	12
2-3. サッチ取り作業を終了する	13

お手入れ方法と保管方法	14
1. お手入れ	14
1-1. コームの交換	14
1-2. Vベルトの点検と交換	15
1-3. ローンコームのお手入れ	16
2. 保管について	17
2-1. 長期保管後のご使用について	17
トラブルシューティング	18
1. こんなときは	19
1-1. ブレーカーが作動した時は	19

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険
死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。 禁止事項は絶対にやめてください。

 警告
死亡または重大な傷害を受ける事故が発生するおそれがある内容です。 禁止事項は絶対にやめてください。

 注意
軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生するおそれがある内容です。充分にご注意ください。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 禁止	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
 必ず守る	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
 注意	この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。 行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

- この取扱説明書は本機を操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
 - 本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
 - 紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。
-

安全にお使いいただくために

⚠ 危険



よく読む

使用の前に取扱説明書をよく読む

- 本機を使用する場合は、取扱の方法、作業の仕方等を習得してから慎重にサッチ取り作業をしてください。



禁止

芝生のサッチ取り作業以外には使用しない

- 本機は芝生のサッチを取るために設計・製造されていますので、サッチ取り作業以外には使用しないでください。目的以外で使用されますと、ケガや事故の原因になります。また本機の寿命を縮めます。

傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしない

- 傾斜地で作業（使用）をすると、本機がバランスを保つことができず転倒し、事故が発生する恐れがあります。

回転部に手足等身体を近づけない

- 本機の点検・調整（特に回転部の調整）・手入れなどを行う場合は、特にケガ防止の為に必ず革手袋を着用してください。
- サッチ取り作業中に回転部等に、手や足等で触れないでください。ケガの原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、絶対に回転部に身体を近づけないでください。



子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 本機に子供や物品を乗せたり、子供に操作をさせないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- 疲れている場合は使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- グラスキャッチャー、ベルトカバー等を外した状態では危険ですので、使用しないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



点検・確認

使用の前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 正常でない機械を使用するとケガや故障の原因になりますので、各部の点検・調整及び組立方法を確認してください。
- 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に動作するか充分点検してください。
- 本機の組立を適切に行ってください。



必ず守る

使用前に芝生内の障害物を必ず取除く

- 小石、木片、金属片等があると、回転部等を傷めたり故障の原因及び、障害物の飛散によるケガの原因となりますので取除いてください。

スイッチ操作（ローンコームの作動）をする時は、必ず上ハンドルをしっかり握る

- コーム先端が地面と接触して本機が飛び出し、ケガをする恐れがあります。

感電の恐れがありますので、下記のことを守って作業する

- 雨中での作業はしないでください。
- 雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
- 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
- 濡れた手でスイッチレバー、電源プラグに触れないでください。
- 延長コードのアースクリップは、必ずアースしてください。
- 延長コードを本機で巻込まないよう、充分ご注意のうえ作業してください。

次の作業は本機の延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてから行う

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| • 組み立てる時。 | • Vベルトの点検、交換をする時。 |
| • グラスキャッチャー（集草器）の脱着時。 | • 回転部の交換をする時。 |
| • サッチ取り高さの調節をする時。 | • その他調整・点検・修理を行う時。 |
| • 回転部に石、木片等の異物が入って異常を感じた時。 | • 持ち運びする時。 |
| | • 使用しない時。保管する時。 |

子供やペットを近づけない

- サッチ取り作業時に飛散物でケガをする恐れがありますので、作業員以外は作業場に近づけないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



必ず守る

作業に適した服装で作業する

- 操作時は常に安全面に配慮し、長袖・長ズボン（袖・裾のダブつきのない）などの作業服を着用してください。
- 各部の点検、整備、調整及びサッチ取り作業時は、JIS 等の規格に合格した安全帽を着用するとともに革手袋、防塵メガネ・耳栓をつけ、足元の保護のため安全靴を履いてください。

⚠ 注意



必ず守る

本機をぶついたり、落下させたり強い衝撃を与えない

- 回転部や本体などに破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 機械の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品を使用してください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。

濡れた芝生はサッチ取りしない

- 感電の恐れがあるばかりでなく、サビなど本機の故障の原因となります。

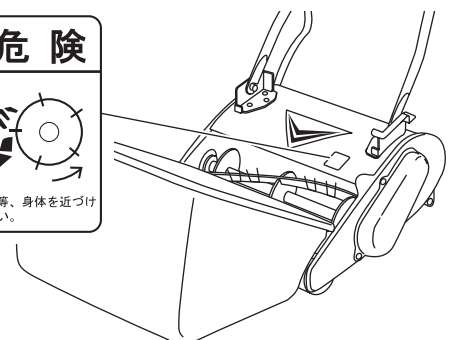
使用後や収納保管時の注意点

- 使用後は必ず手入れをして、湿気の少ないところに保管してください。湿気の多いところではサビが発生し、故障の原因となります。
- 収納時は、ハンドルを外す等の処置を施し、本機が倒れても危険のないようにしてください。
- 使用後はお子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。

警告・注意ラベルの貼付位置

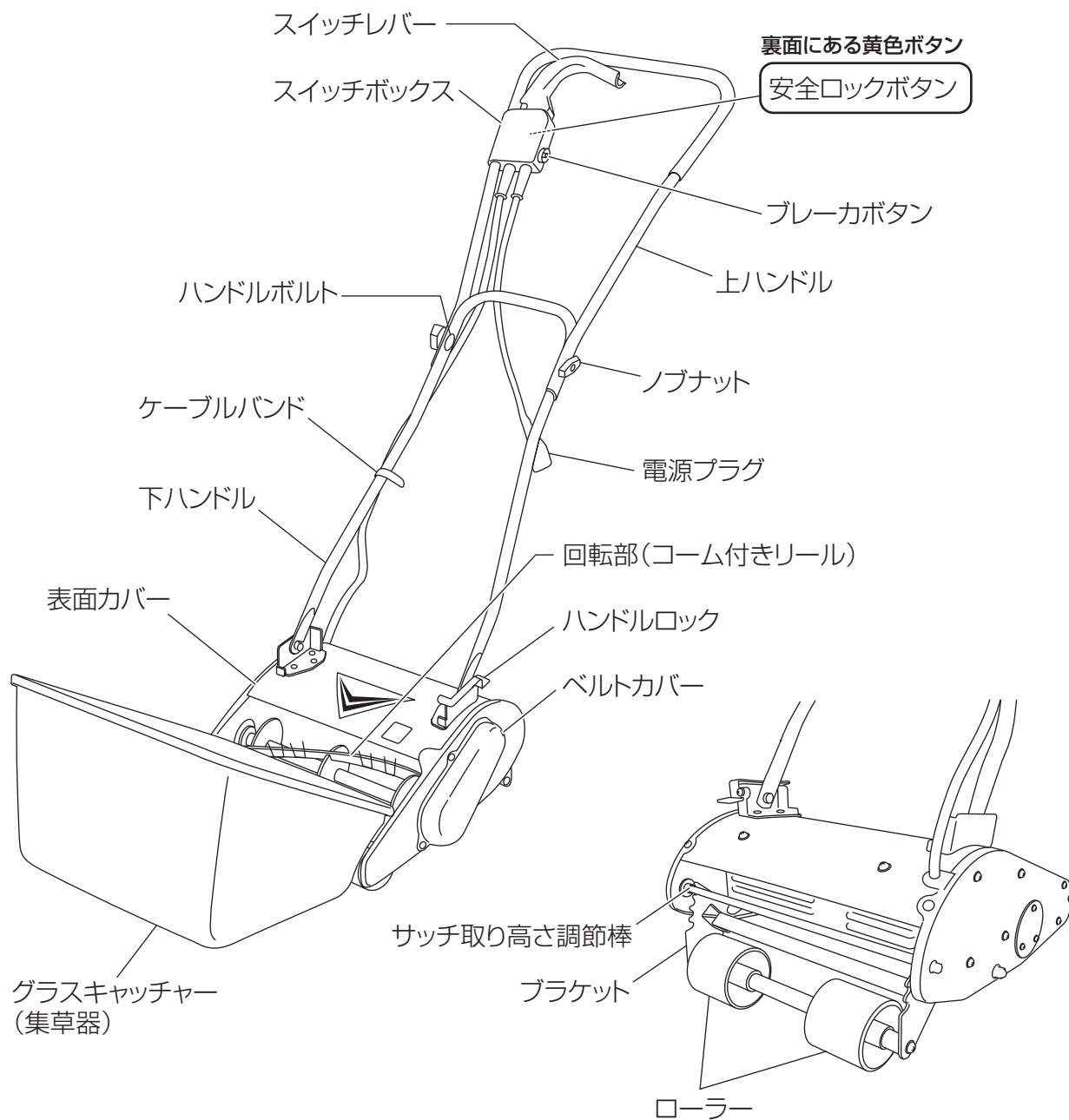
安全に使用していただくために、本機には警告・注意ラベルが貼ってありますので、よく読んでからご使用ください。

なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。



各部の名称と仕様

各部の名称



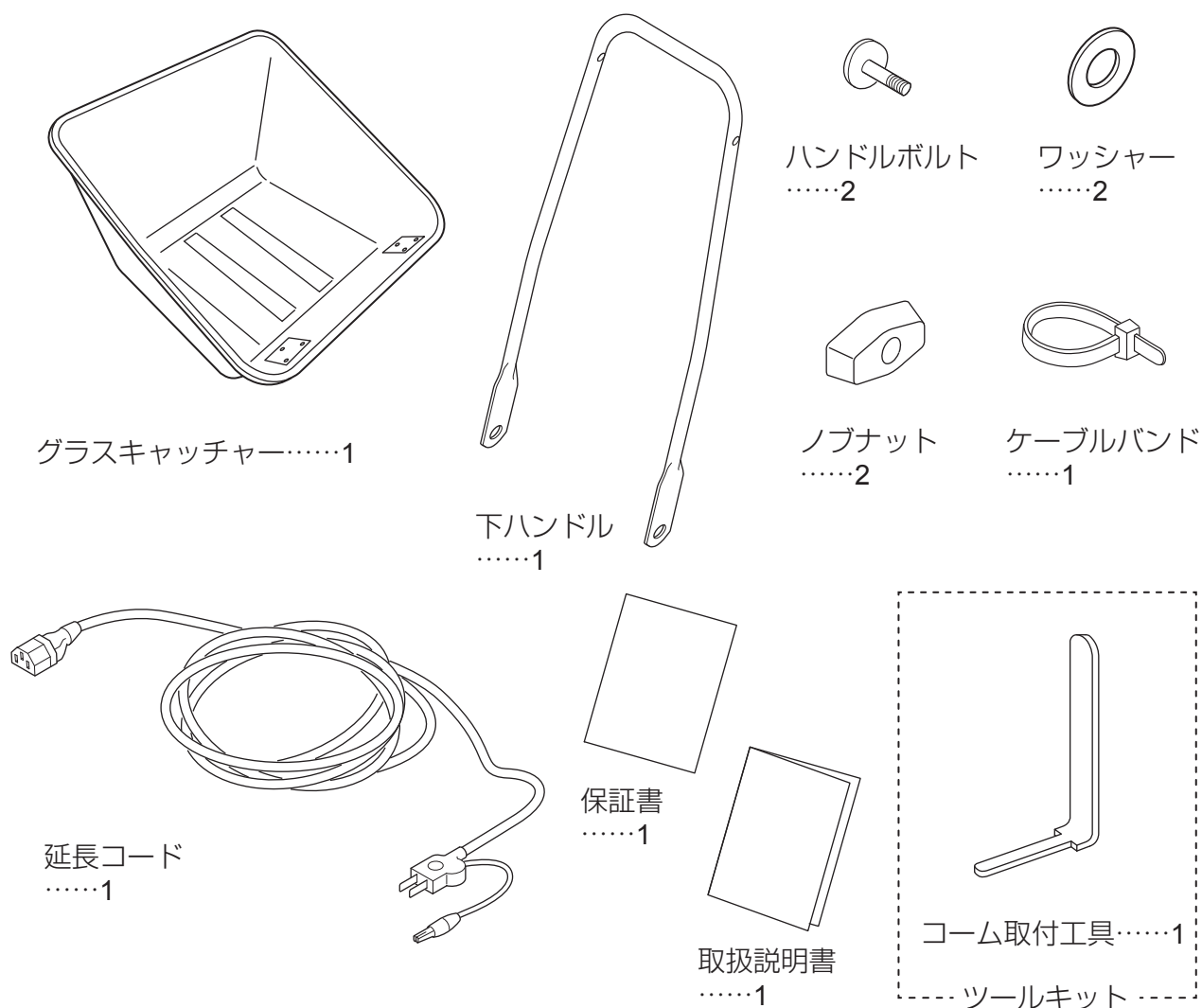
仕 様

型 式	LCA-260RW	定格消費電力	520 W
定格電圧	AC100V	リール幅	260 mm
定格周波数	50/60 Hz	重 量	約 9.7 kg

本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

各部の名称と仕様

付属部品



必ず梱包品の確認を行ってください

⚠ 注意



必ず守る

- 開梱、組立作業は、けが防止のため必ず2人以上で行い、作業者は安全靴・手袋を着用してください。

段ボール箱を開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。

※箱、梱包材は収納時や移送時に必要です。大切に保管してください。

ローンコームの取扱い

1. モーター始動までの準備

⚠ 警告



必ず守る

- ケーブル類を、ハンドルで巻き込んだり、挟み込んだり、折ったりしないでください。本機の性能を充分発揮出来ないばかりか、緊急時に事故回避操作ができない場合があります。

⚠ 注意



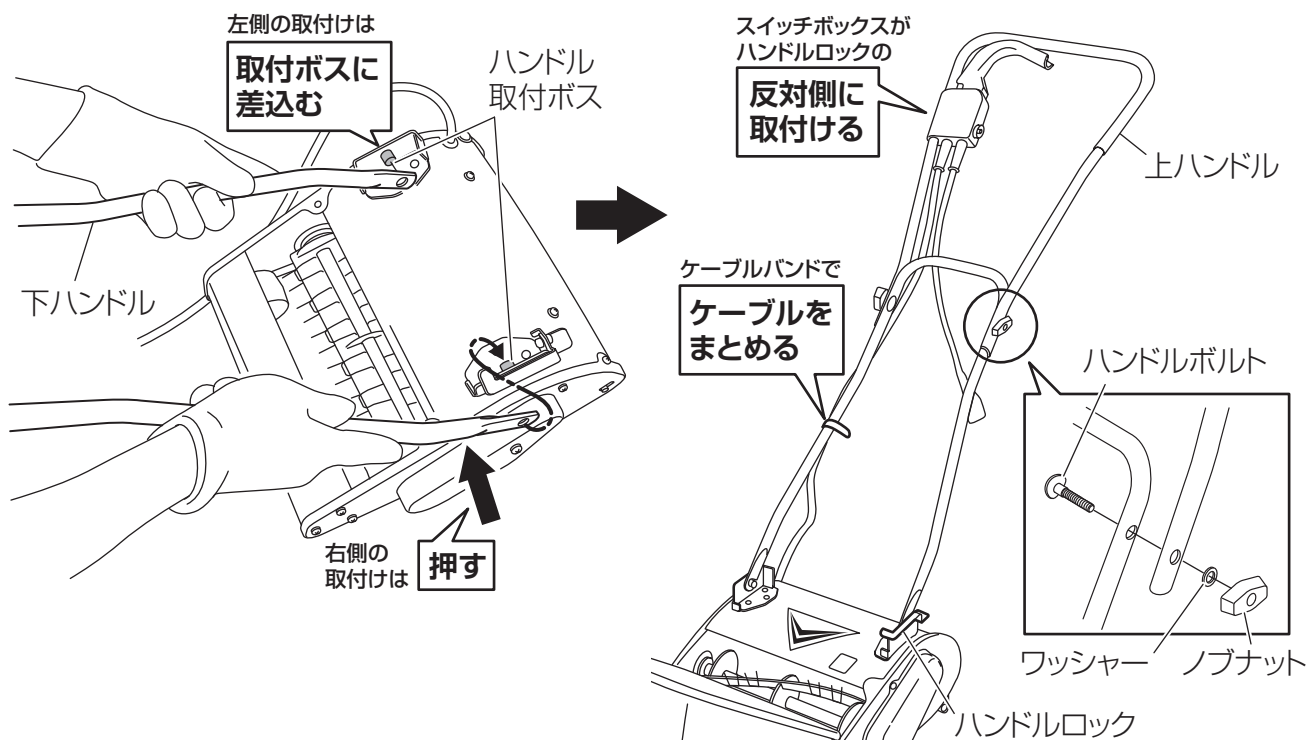
必ず守る

- 本機の組立てや各部の調整を行う場合は、ケガ防止の為に必ず革手袋を着用し、回転部に充分注意してください。

1-1. ハンドルを本体へ取付ける

まず下ハンドルを本機上部のハンドル取付ボスにはめ込みます。次に上ハンドルのスイッチボックスがハンドルロックの反対側になるように、上ハンドルを下ハンドルにハンドルボルト・ワッシャー・ノブナットの順で取付けます。

最後にケーブルバンドを使って、ケーブル類を下ハンドルにまとめて止めておきます。



ローンコームの取扱い

1-2. グラスキャッチャー（集草器）を組立てる

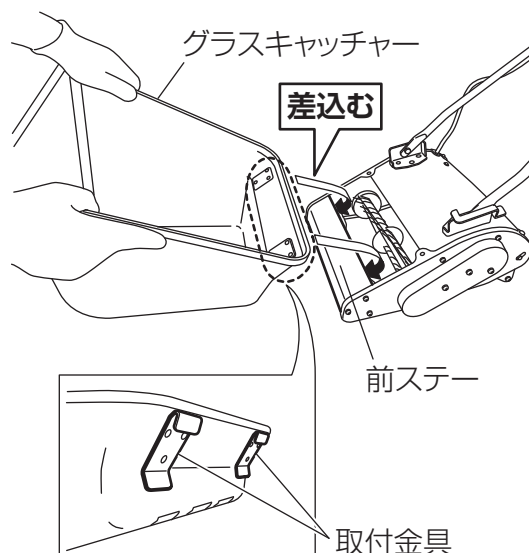
⚠ 注意



必ず守る

- 安全のためにグラスキャッチャーの取付け、取外しは、延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、本機を停止させている時に行ってください。

グラスキャッチャーの取付金具を本体の前ステーに最後まで差込みます。



1-3. サッチ取り高さ（深度）を設定する

⚠ 警告



必ず守る

- サッチ取り高さを調節する時は、必ず延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意



刃物注意

- 回転部に手や指が触れるとケガをする恐れがあります。必ず革手袋を着用し、取扱いには充分注意してください。



必ず守る

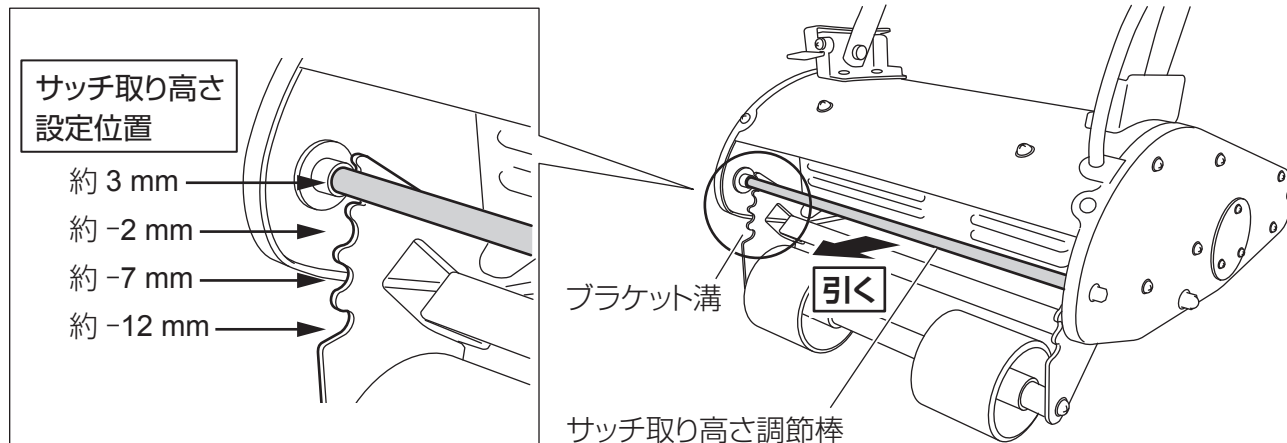
- サッチ取り高さ位置は必ず左右同じ位置に合せてください。左右を異なる位置に合わせると芝生を傷める恐れがあります。

芝生がマット状になって根が高くなっている状態や部分的に枯れているなどの老化現象の状態によって、本機のサッチ取り高さを設定します。

ローンコストの取扱い

サッチ取り高さの設定方法

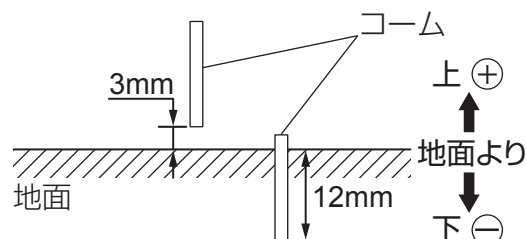
サッチ取り高さ調節棒を手前へ引き、設定したいサッチ取り高さ位置のブラケット溝に**必ず**左右が同じ高さとなるようにはめ込みます。



ポイント

- サッチ取り高さとは…
コームの先から地面との距離を示します。

サッチ取り高さ設定



1-4. 作業前の点検をする

⚠ 注意



必ず守る

- 使用前に本機調整箇所及び、組立て方法を確認してください。異常があれば直ちに修理してください。
- 各部のネジにゆるみがないか、各部品に損傷がないか、また正常に作動するか充分点検してください。

ハンドル・グラスキャッチャー等本機の組立てを適切に行っているか、また延長コード、電源プラグなど電線が熱をもったり、断線がないかを確認してください。

ローンコームの取扱い

2. サッチ取り作業

2-1. 電源プラグを接続する

⚠ 警告



必ず守る

- 延長コードは、屋外用 125V・7A・0.75mm²以上のキャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルをご使用ください。なお、延長コードの接続は必ず20m以下にしてください。
- 延長コードのアースクリップは必ず接地（アース接続）してください。

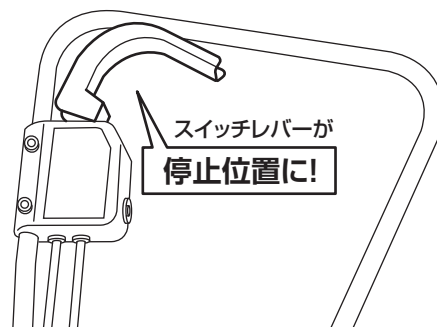
⚠ 注意



必ず守る

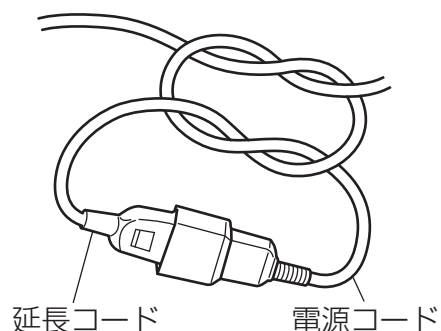
- 必ず家庭用コンセント（AC100V）をご使用ください。エンジン発電機等を使用した場合、本機の故障の原因になります。

- ① スイッチレバーが停止位置にあることを確認した後、本機側電源プラグと延長コードのプラグを接続します。

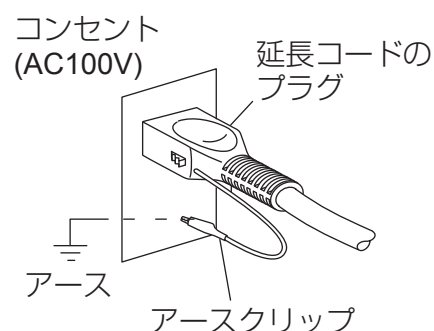


ポイント

- このとき軽く結んでおくと使用中、簡単に抜けることはありません。



- ② 延長コードのプラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込み、アースクリップを接地（アース接続）します。



ローンコームの取扱い

2-2. サッチ取り作業をする

⚠ 警告



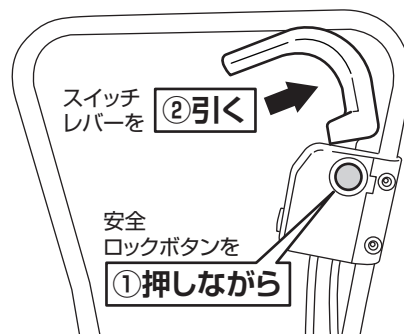
必ず守る

- 作業中は事故防止の為、取扱説明書の警告の項及び本機の危険、警告ラベルの指示に従ってください。
- 作業に適した服装(裾・袖にダブつきのない長袖・長ズボン)で、安全帽・革手袋・防塵メガネ・耳栓を着用し、足元の保護のために安全靴を履いてください。
- 芝地に小石・木片等の異物があると飛散物によるケガや、コームを傷める等の故障の原因となります。サッチ取り前に必ず異物を取除いてください。
- スイッチ操作をする場合、両手でしっかりと上ハンドルを握り、芝地以外では必ずサッチ取り高さ位置を3mmにしてください。コーム先端と地面の接触で本機が前方へ飛び出し、ケガをする恐れがあります。
- サッチ取り作業はコンセントに近い方から始め、遠くへ進むようにしてください。万一延長コードを踏んだり巻込んだ場合は、延長コードを切断し感電の恐れがあります。

ローンコームの作動方法

安全ロックボタンを押した状態でスイッチレバーを手前へ引くと、スイッチが入り回転部が回転します。

スイッチボックス裏面



ポイント

- 安全ロックボタンを押さなくてもスイッチレバーは動きますが、電源は入りません。
- サッチ取り作業中は、安全ロックボタンを常時押し続ける必要はありません。

サッチ取り作業の進め方

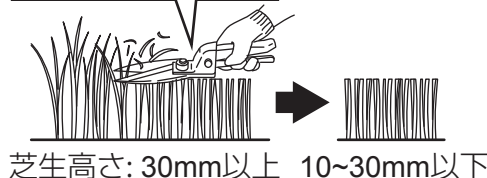
⚠ 注意



必ず守る

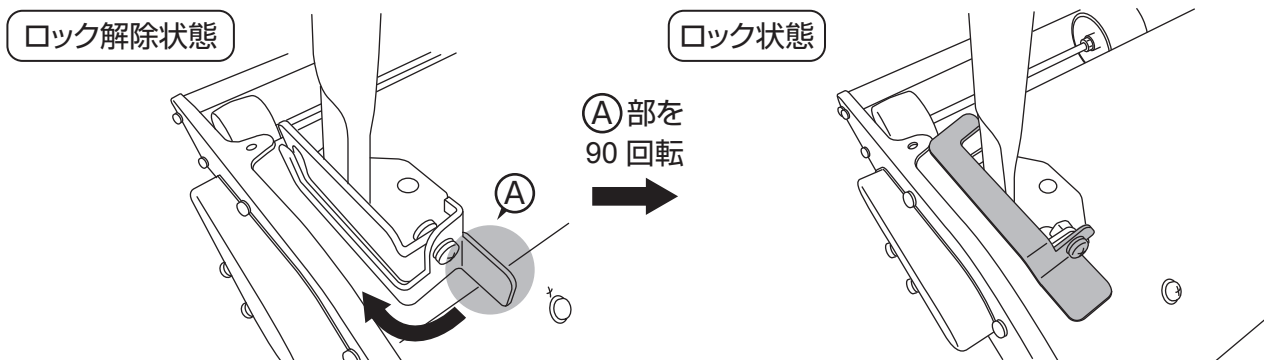
- 芝生が枯れている時期の作業は芝生を傷めやすいので、芝生の生育のよい季節(7~8月頃)に行ってください。
- 長い芝生のまま作業をすると、芝生がコームに巻付き、本機の故障や大切な芝生を傷める原因となるので、必ず作業前に10~30mmに刈込んでください。

芝生狭などでカット

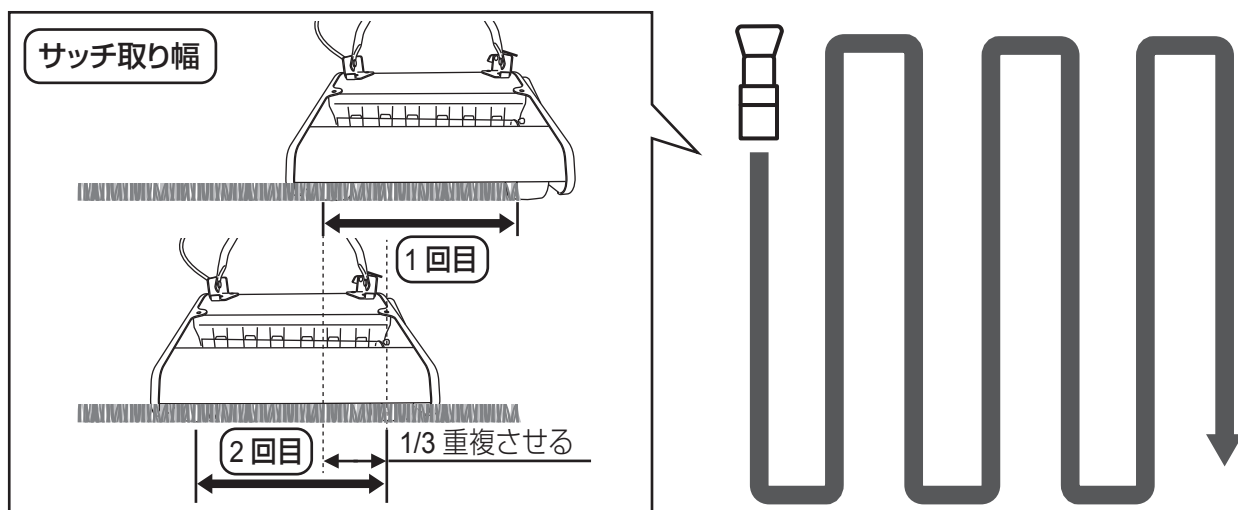


ローンコームの取扱い

最初にハンドルが前に倒れないように、ハンドルロックをロック状態にした後、サッチ取り作業を始めます。



作業中は必ず両手で上ハンドルをしっかりと握り、サッチ取り幅を全部使わず、常にサッチ取り幅の約 1/3 程度を重複して作業を行うと、きれいに仕上がります。



2-3. サッチ取り作業を終了する

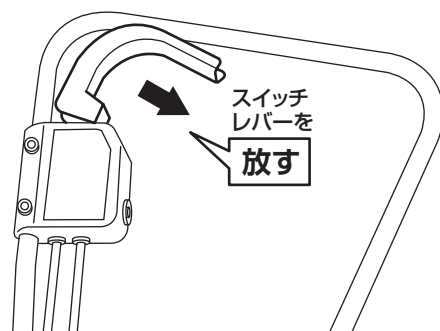
⚠ 注意



必ず守る

- 使用後は延長コードを必ず巻取ってください。

スイッチレバーから手を放すとスイッチが切れ、回転部の回転が止まります。



お手入れ方法と保管方法

1. お手入れ

⚠ 警告



必ず守る

各点検・整備・調整は…

- 事故防止のために必ず行ってください。
- 必ず延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、回転部が停止している事を確認した後に行ってください。
- ケガ防止のため、安全帽・防塵メガネ・手袋・安全靴を必ず着用してください。

⚠ 注意



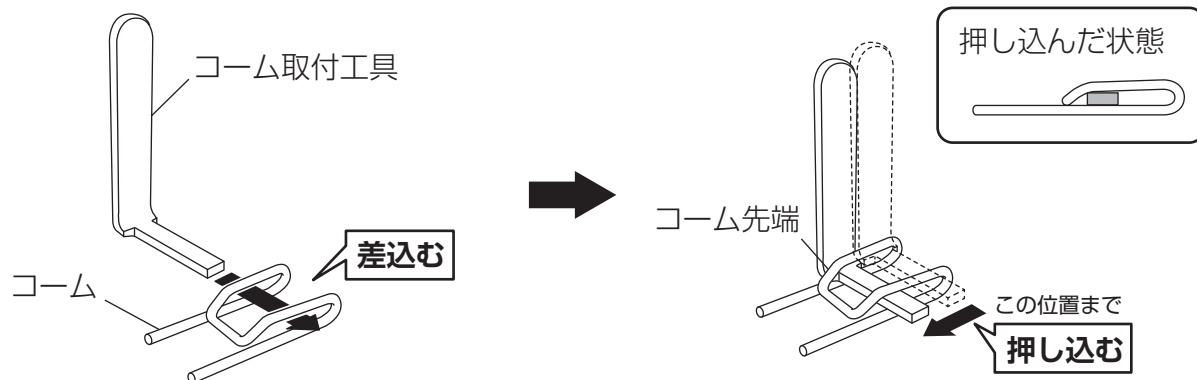
必ず守る

- 本機に異常を感じた時はただちに作業を中止し、修理が必要な場合は必ずお買い求めの販売店へ申し付けください。
- 取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないでください。また必ずゴールデンスター純正部品、付属品を使用してください。

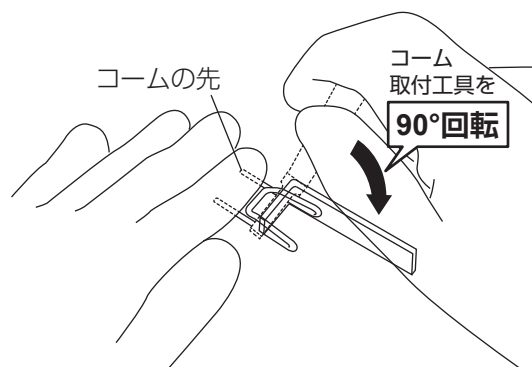
1-1. コームの交換

交換のしかた

- ① 古いコームは外側（リールの外側）から金槌などで打って抜取ります。
- ② コーム取付工具をコームに差込み、コーム取付工具をコームの先端側に押し込みます。

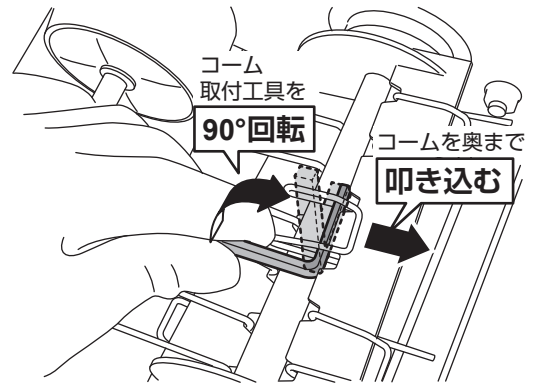


- ③ コームの先を手で床に押さえ、コーム取付工具を90°回転させます。



お手入れ方法と保管方法

- ④ コームをブレードの溝部側から奥まで差込み、コーム取付工具を90°回転させます。



- ⑤ コームがしっかりとブレードを挟み込んでいるのを確認し、コーム取付工具をコームから取外し、コームを金槌などで奥まで叩き込みます。

1-2. Vベルトの点検と交換

⚠ 警告



必ず守る

- 必ず延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、回転部が停止している事を確認した後に行ってください。

⚠ 注意



必ず守る

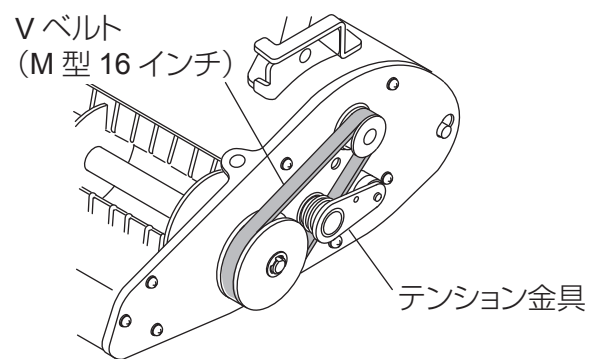
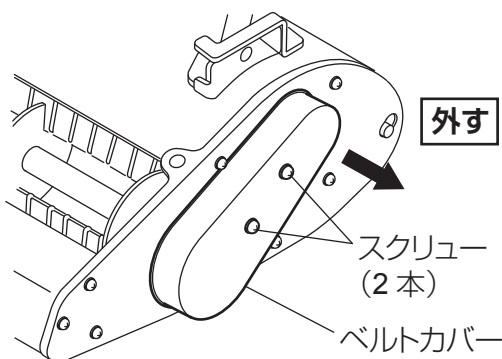
- ベルトカバーを外して定期的にVベルトにワレ、裂け、重度の磨耗等がないか点検してください。
- Vベルトの取付けと取外しを行う時は、取外す時は各大きいプーリー側から、取付ける時は各小さいプーリー側から行ってください。

点検時期

(初回のみ) 2～3時間使用後。(2回目以降) 25時間毎。

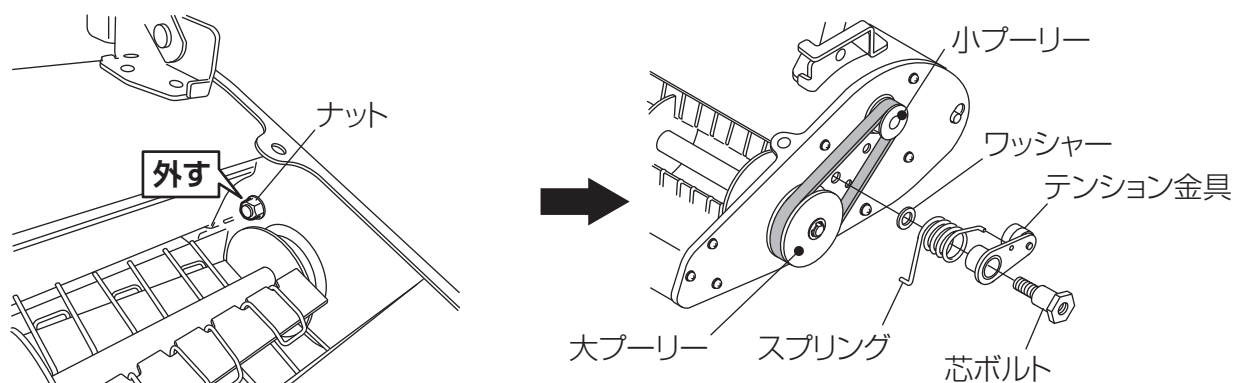
交換のしかた

- ① 延長コードの電源プラグをコンセントから抜き、ベルトカバーを取付けているスクリュー2本を取外し、ベルトカバーを取外します。

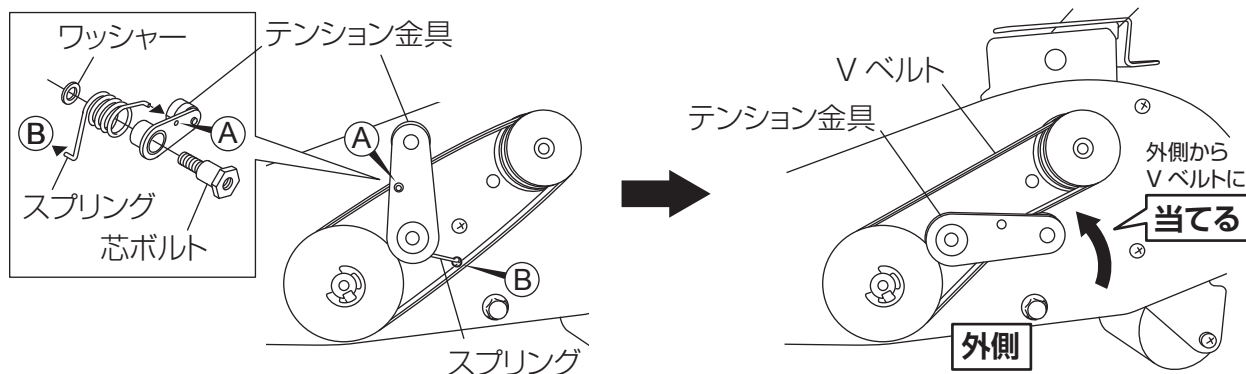


お手入れ方法と保管方法

- ② テンション金具を取付けているナットをゆるめ、テンション金具・芯ボルト・スプリング・ワッシャーをを外し、表面に亀裂等が入って損傷したベルトと新しいベルトを交換します。



- ③ スプリングをテンション金具①とフレーム②の穴に差込み、テンション金具を外側から V ベルトに当て、テンション金具・芯ボルト・スプリング・ワッシャーを取付け、ナット・スプリングワッシャーで確実に固定します。



- ④ ベルトカバーをスクリュー 2 本で確実に固定します。

1-3. ローンコームのお手入れ

⚠ 警告



必ず守る

- 使用していない時 (保管時) は、必ず延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意



必ず守る

- 調整、お手入れ等の際は、ケガ防止の為に必ず革手袋を着用し、充分安全に注意して行ってください。
- お手入れの際はガソリン、シンナー、ベンジンは使用しないでください。

いつまでも最良の状態を保つために、ご使用後は本体、グラスキャッチャー、ハンドルをきれいに清掃し、油布で金属部の手入れをした後、日中よく乾燥させてください。

お手入れ方法と保管方法

ポイント

- 芝刈機お手入れセット

No.538503

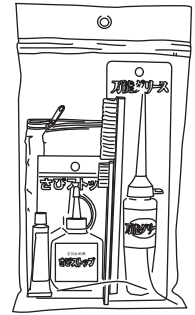


ローンコームのお手入れに欠かせない商品が一袋にまとまっています。

セット明細

- グリス - さび止め - コンパウンド
- ウェス - ブラシ (大・小) - ファスナー付き手さげバック

※ご用命の際は本機をご購入の販売店、又は貼付の QR コードをお使いください。



2. 保管について

まずハンドルを取外す等の処置を施し、倒れても危険のないようにした後、湿気やホコリが少なく、子供の手の届かない場所に保管してください。

また、長期保管をする前には、可動部に機械油を注油し、特に回転部がサビないように油拭きをしてください。

ポイント

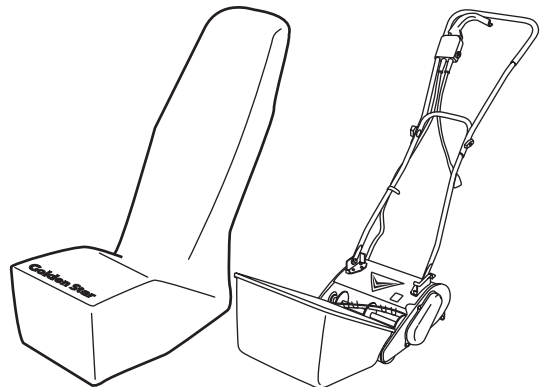
- 電気芝刈機用カバー

No.538506



大切なローンコームを雨や日差しから保護するカバーです。

※ご用命の際は本機をご購入の販売店、
又は貼付の QR コードをお使いください。



2-1. 長期保管後のご使用について

長期保管後のご使用前は、回転部に機械油またはグリース等を注油してください。

異常がある時はむやみに分解せず、ただちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店またはサービス店へお申し付けください。

トラブルシューティング

本機に異常があれば、修理に出される前に下表より原因を探り適切な対策を施してください。

不調の状況	予想される原因	対 策
モーターが 作動しない。	ブレーカーが作動している。	負荷原因である回転部に詰まったサッチ・異物を取除いてから、ブレーカーボタンを押し、作動確認をする。 (P.19 参照)
	電源プラグ・延長コードがコンセントから抜けている。	正しく接続する。(P.11 参照)
	延長コードが断線している。	延長コードを交換する。
ブレーカーが 度々作動する。	本機電源プラグとコンセント間の延長コードを 20m 以上接続している。	延長コードの長さを 20m 以下にする。

※表は簡単なトラブルシューティングしか記載しておりませんので、わからない点や複雑な異常はお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

トラブルシューティング

1. こんなときは…

1-1. ブレーカーが作動した時は…

⚠ 警告



必ず守る

- 本機に詰まったサッチ・異物を取除く時は、必ず延長コードの電源プラグをコンセントより抜いてください。

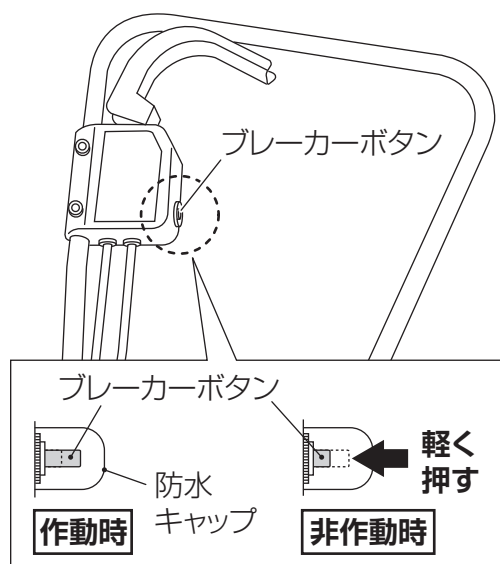
作業中、モーターに異常負荷がかかるとブレーカーが作動して自動的に電源が切れます。

復帰のしかた

- ① すぐにスイッチレバーから手を放してスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントより抜きます。
- ② 異常負荷の原因である回転部や排出口付近に詰まったサッチ・異物等を取除きます。
- ③ スwitchレバーから手を放してスイッチを切り、60秒以降にブレーカーボタンを軽く押込み、延長コードの電源プラグをコンセントに差込みます。
- ④ 動作確認を行ってから作業を再開してください。

ポイント

- ブレーカーボタンが押込み難い場合は、ボールペンの先等のとがったもので軽く押し込んでください。





製造
番号

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 ㊦675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 ㊦103-0001
TEL (03) 3664-8811代 FAX (03) 3664-8860

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 ㊦841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 ㊦955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社

2069Ai-1408